京都大学地域研究統合情報センター　共同研究ワークショップ

情報をつなぐ、世界をつかむ－地域情報学で変わる地域研究－

日　時：2012年4月28日（土）13時30分～18時20分
場　所：稲盛財団記念館大会議室（3階・333号室）

趣旨

　地域研究の考え方や手法が他の専門的な学問分野に広がると同時に、地域社会でも自律的な情報収集・発信能力が向上し、その両方から得られる膨大な地域関連情報が、研究機関や行政機関、地域社会を含め、世界各地に散在して蓄積されるようになった。1990年代以降、この傾向はとくに顕著となる。現在の地域研究は、さまざまな地域関連情報を従来にない視点と方法で組み合わせることで、新たな展開を図っているといえる。

　地域研究統合情報センターではこれまで、情報学を地域研究に援用した地域情報学の構築を進める過程で、個別の地域研究課題の解決に特化し、目的に応じてカスタマイズが可能な統合型地域研究データベースの開発を進めてきた。研究者ひとりひとりが蓄積する特定の研究課題に関する限られた情報に、地域情報学の手法を応用し、さまざまな地域関連情報を付け加えて分析可能とし、それまでの個人では対応できなかったレベルで地域の総合化を進めるためのシステムである。本ワークショップでは、多様な分野の研究者との討論を通じて、地域関連情報をつなぎ地域理解の総合化を促進するための課題を検討し、新しい地域研究の展開について考える。

13：30～13：35
はじめに
　林　行夫（地域研センター長）
13：35～13：45
趣旨説明
　柳澤雅之（地域研）
13：45～14：25
災害地域情報の多目的利用－研究と社会をつなぐ－
　山本博之・西　芳実（地域研）
14：25～15：05
ポスト社会主義諸国の選挙・政党データベースの「活用」に関する2つの試論
　仙石　学　（西南学院大学法学部）
　小森宏美　（早稲田大学教育・総合科学学術院）
15：20～16：00
フィールドノートの利用可能性－経験的データから共有可能データへ－
　柳澤雅之（地域研）

16：00～16：40
寺院マッピング－見えないものを写像する－
　林　行夫（地域研）
16：40～17：10
トルキスタン集成－現地との協働による希少資料の保存・共有・活用－
　帯谷知可（地域研）
17：25～18：15
コメントおよび総合討論
　コメント：伊東利勝（愛知大学文学部）
　　　　　　武内進一（ジェトロ・アジア経済研究所／JICA研究所）
18：15～18：20
おわりに
　原正一郎（地域研）

CIAS

2011年度　京都大学地域研究統合情報センター

共同利用・共同研究報告会

日　時：2012年4月29日（日）9時30分～18時30分
場　所：稲盛財団記念館大会議室（3階・333号室）

9:30～9:35
趣旨説明
共同利用・プロジェクト構想委員会委員長（2011年度）山本博之

9:35～14:15　【相関地域研究プロジェクト】

◆包摂と排除から見る地域
小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院）

◇学校のなかの「他者」：南アジアの教育における包摂と排除
　押川文子（地域研）
◇「必要不可欠なアウトサイダー」からみる新たな地域像
　北村由美（京大・東南アジア研究所）
◇ヨーロッパにおける複合的国家の歴史的展開と現状比較
　小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院）
◇大衆文化のグローバル化に見る包摂と排除の諸相
―マレーシア映画を事例として
　篠崎香織（北九州市立大学外国語学部）

◆新自由主義の浸透と社会への影響に関する地域間比較研究
村上勇介（地域研）

◇中東欧・ロシアにおける新自由主義的政策の展開とその帰結
　仙石　学（西南学院大学法学部）
◇中東地域における経済自由化と統治メカニズムの頑健性に関する比較研究
　浜中新吾（山形大学地域教育文化学部）
◇ラテンアメリカにおける新自由主義の浸透と政治変動
　村上勇介（地域研）

◆自然と人の相互作用からみた歴史的地域の生成
柳澤雅之（地域研）

◇まつたけ（*Tricholoma spp.*）の生産と流通・食文化をめぐる相関型地域研究
―アジア・北米から中東・地中海地域までを視野に入れて―
　大石高典（京大・アフリカ地域研究資料センター）
◇東南アジアにおける油ヤシ農園生成・拡大の政治経済学
　岡本正明（京大・東南アジア研究所）

◆〈宗教〉からみた地域像
林　行夫（地域研）
片岡　樹（京大・アジア・アフリカ地域研究研究科）

◇聖なるもののマッピング
　片岡　樹（京大・アジア・アフリカ地域研究研究科）
◇功徳の観念と積徳行に関する地域間比較研究
　兼重　努（滋賀医科大学医学部）
◇癒し空間の総合的研究―聖空間としての延喜式内社とアジアの聖地の比較研究
　鎌田東二（京大・こころの未来研究センター）

14:15～15:40　【地域情報学プロジェクト】

◆地域情報学の展開
原正一郎（地域研）

◇沖縄におけるマラリア対策資料の医療情報学および地域情報学的分析
　飯島　渉（青山学院大学文学部）
◇HGISの利用と動向に関する研究
　関野　樹（総合地球環境学研究所）
◇地域研究資料の連関、組織化と利用に関する研究
　内藤　求（㈱ナレッジ・シナジー）
◇東南アジア地域の古文書を対象とした汎用的データベース公開システムの検討
　星川圭介（地域研）
◇分野融合型集落定点調査情報の時空間データベースの構築と共有に関する研究
　渡辺一生（京大・東南アジア研究所）

15:55～16:35　【地域情報資源共有化プロジェクト】

◆CIAS所蔵資料の活用
帯谷知可（地域研）

◇トルキスタン集成のデータベース化とその現代的活用の諸相
　帯谷知可（地域研）
◇脱植民地化期の東南アジアにおけるムスリム社会の動態
　坪井祐司（東洋文庫）

16:35～17:45　【地域研究方法論プロジェクト】

◆地域研究方法論
山本博之（地域研）

◇『仮想地球』モデルをもちいたグローバル/ローカル地域認識の展開
　荒木　茂（京大・アジア・アフリカ地域研究研究科）
◇ヒューマン・パワー時代の外交・安全保障の現場と地域研究
　川端隆史（SMBC日興証券㈱）
◇災害対応と情報――人道支援・防災研究・地域研究の連携を求めて
　西　芳実（地域研）
◇地域研究における情報資源の共有化とネットワーク形成による異分野融合型方法論の構築
　錦田愛子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

17:45～18:00　【災害対応の地域研究プロジェクト】

◇３・１１被災後のディアスポラ・コミュニティにおけるコミュニケーションの総合的研究
　中島成久（法政大学国際文化学部）

18:00～18:30　総評

休憩室では現在地域研が公開している各種データベースのデモンストレーションを行います。ぜひお試しください。
問合せ先：共同利用・プロジェクト構想委員会　project@cias.kyoto - u.ac.jp